

研究名：最後の歯科受診から当院周産期歯科外来受診に至るまでの期間の 違いと妊婦の口腔内状況の関連性

1．研究の目的

当院周産期歯科外来を受診した患者さんにおいて、当院周産期歯科受診に至るまでの期間の違いで口腔内状況にどのような影響があるのか調査し、妊娠を考えている女性の方や妊娠中の女性の方に対し、口腔の健康を維持・増進するための推奨可能な歯科受診間隔に関する情報を探究することを目的とします。

2．研究の方法

研究対象：2021年10月1日～2023年9月30日の2年間で周産期歯科外来を受診した患者さん

研究期間：倫理審査委員会承認後から2025年12月まで

研究方法：診療録に記載された情報を抽出し統計処理します

3．研究に用いる情報の種類

受診年齢、妊娠週数、出産歴数、既往歴、基礎疾患、服用中の薬剤、最後に歯科受診した時期、受診理由、口腔内所見、齲蝕罹患・治療歴、口腔衛生の状態、歯周病検査結果等 等

患者さんの氏名など、本人を特定出来る一切の個人情報は調査対象ではなく、個人情報は保守されます。

4．情報の公表

本研究により得られた研究の成果は、学会発表及び学術論文の形で公表する予定です。

5．研究実施機関

国立成育医療研究センター

6．お問合せ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2024年1月31日までに下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立成育医療研究センター 周産期歯科 齋藤 亮

住所：〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1

電話：03-3416-0181（内線：2666）

研究責任者：

国立成育医療研究センター 周産期歯科 齋藤 亮